

# 統計学習副読本活用の手引き

岐阜県環境生活部統計課

統計学習副読本は、高学年の児童に必要な統計プロセスの実践的学習ができることに加え、岐阜県に関する様々な統計データを用いて、県の魅力や特徴を楽しく学ぶことができる内容となっています。

県内の全ての4年生に1部ずつ提供しますので、6年生までの3年間にわたり大切に扱うようご指導いただくとともに、算数・社会などの教科のみならず、「総合的な学習」「ふるさと学習」などの授業にも幅広くご活用くださいますようお願いいたします。

また、本手引きでは、副読本を活用した授業例を紹介していますので、先生方のご指導の参考としていただければ幸いに存じます。



## 第1章 グラフでみるわたしたちのふるさと岐阜県



社会科  
総合的な学習の時間  
がおススメ

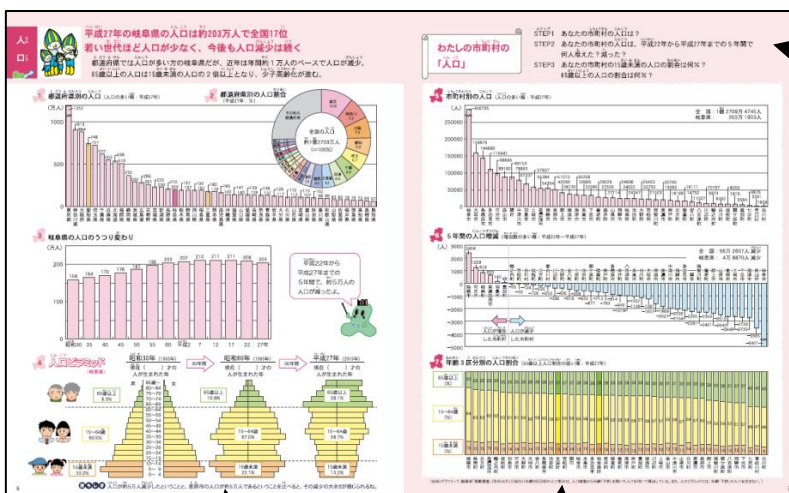
社会科第3・4学年で学習する「わたしたちの県」の内容を参考に構成しています。

9つのテーマについて、主に見開き2ページで見やすく統計資料を配置しています。それぞれの内容は、独立していますので、どこからでも興味のあるところから、読み進めていくことができます。

本章では、以下の8つのテーマを取り扱っています。

「人口」 「人口の動き」 「世帯と暮らし」 「安全・安心」  
「自然と気候」 「農林水産」 「工業」 「観光」 「選挙と政治」

左上に、テーマとその内容についての概要について記載されています。  
概要は、統計資料からどのような読み取りができるかの参考になります。



テーマにかかわって、地域や市町村といった県以外の統計資料がある場合には、右上に追求していくための、視点が書かれています。

児童が、本冊子を用いて自学・自習をする際には、この視点をもとに調べる方法があることをアドバイスしていくことが考えられます。

見開き左ページの下には、テーマにかかわる「豆ちしき」が記載されています。

見開き右ページの下には、出典やデータを見る上での注意事項が記載されています。





第4章 わたしの市町村の統計データ一覧表

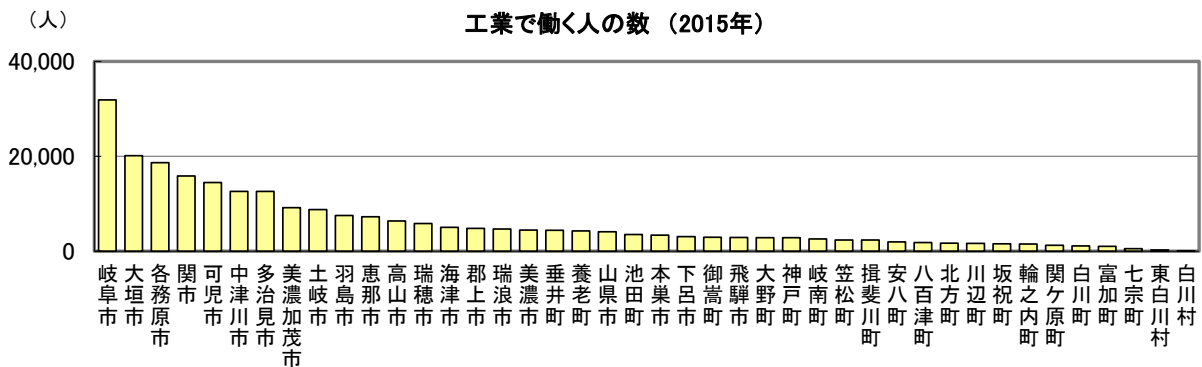


社会科 総合的な学習の時間 がおススメ

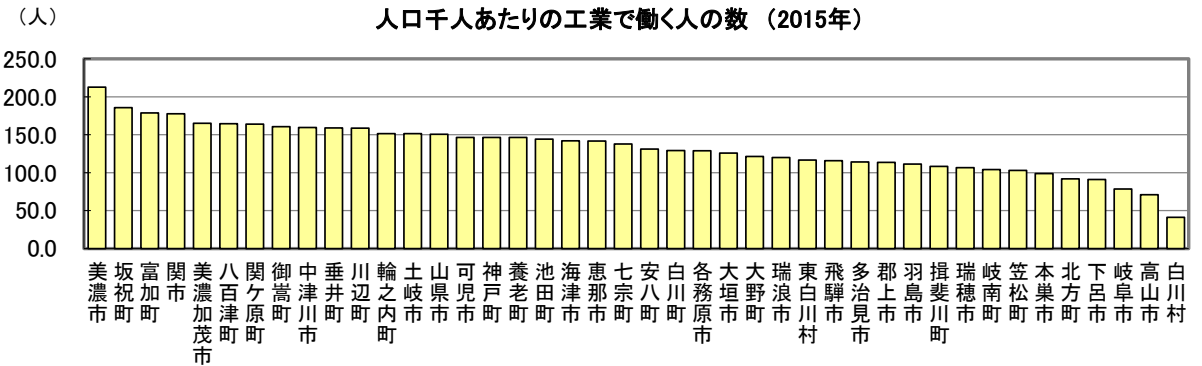
第4章は、社会科第3・4学年で学習する地域の学習を参考に構成しました。取り上げた内容は、「人口・世帯」「自然と気候」「農業」「工業」「安心・安全」「選挙と政治」の6つの市町村のデータです。本章は、第2章「わたしのまちのグラフ工房」の元データにもなっています。また、このデータを使って、次のような学習も考えられます。

①市町村のいろいろランキング作り

工業で働く人の数についてランキングを作ると以下ようになります。

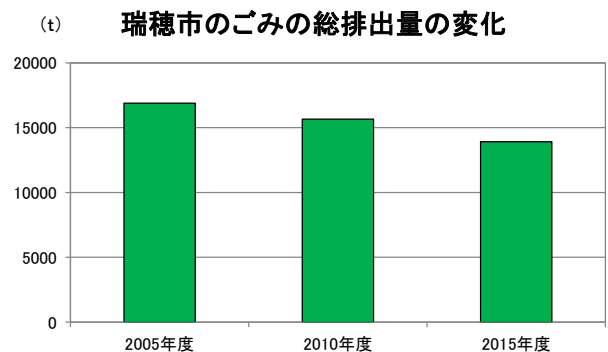
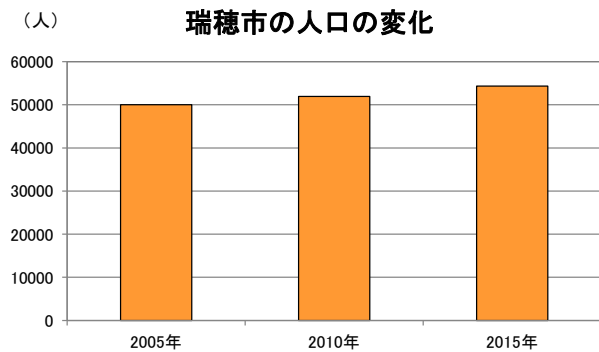


このような市町村のランキングをいくつか作っていくと、人口が多い市町村が上位にくる傾向にあることに気づく児童が出てくることが予想されます。この場合、算数科第5学年で習う「単位量あたりの大きさ」の学習内容を伝えていくことで、統計の見方が広がります。実際、工業の働いている人の数を「人口千人あたり」のランキングでグラフをつくり直すと以下ようになります。



②2つのデータをグラフにした分析

人口などは、複数年間のデータが掲載されています。それらの2つのデータをグラフにすることで、より深い学習が可能になると考えます。例えば、瑞穂市の「人口」と「ごみ総排出量」のデータをもとにして、グラフを作ると、以下ようになります。



瑞穂市の人口は、全体的に増えている一方で、ごみの総排出量は近年減っています。この資料を提示することで、ごみについて考えていくきっかけができるのではないかと考えます。